

# 令和5年度「事業計画」の検討に向けた基本的な視点等について

## 基本的な視点

- デジタル分野や脱炭素など環境分野等の成長産業分野等への人材シフトを促進
- 将来的な労働力人口の減少を見据え、労働者のスキルアップ支援を強化し、多様な人材の労働参加を促進
- テレワークの更なる浸透、男性「育業」の更なる取得促進など、働き方改革を一層推進し、中小企業等の生産性を向上

## 施策の検討項目（イメージ）

- ◆ デジタル分野や環境分野等の成長産業分野等における職業訓練や中小企業の人材確保を支援
- ◆ ソーシャルファームの更なる活動促進など、障害者、ひとり親、生活困窮者など就労に困難を抱える方々への支援
- ◆ 女性や高齢者、障害者、非正規労働者、就職氷河期世代や若者等への就労支援
- ◆ コロナ禍や物価高騰等の動向を見据えた雇用対策の実施
- ◆ テレワーク運用時の課題解決の支援や、テレワークの更なる普及・定着に向けた支援
- ◆ 男性「育業」の取得促進に向けた中小企業への支援や普及啓発の強化
- ◆ 就労支援と能力開発との連携の更なる強化 など